

## 令和7年度 学校評価アンケート（12月実施）結果より（一部抜粋）

※他の回答は学校ホームページをご覧ください

アンケートの結果から以下のようなことが明らかになりました（数字は肯定的な意見の割合です）。

### ① 生徒は自分に合った勉強法の工夫をしている。

保護者 58.3%	/	生徒 85.5%
-----------	---	----------

昨年度実施のアンケートと比べ、結果に大きな違いのなかった項目でした。生徒の「そう思う」「おおむねそう思う」と回答した割合に対し、保護者の「そう思う」「おおむねそう思う」と回答した割合が低い背景として、学校内で生徒が取り組んでいる「工夫」が家庭学習にどのように生かされているかが見えづらいことが挙げられます。授業や課題を通して身につけた力を、家庭学習など、他の場面でも発揮できるように指導していきます。また、面談や保護者会などの際に、生徒の学校での学習の取り組み状況や取り組み方を、より密に保護者と共有し、効果的な学習について本人・家庭とともに考える場を設けていきます。

### ② 学校はいじめがなく、生徒は安心して楽しく過ごすことができている。

保護者 85.0%	/	生徒 86.4%
-----------	---	----------

「そう思う」「おおむねそう思う」と回答する割合が、保護者・生徒とも8割を超える結果となっています。今後も継続して「安心して学校に通えている」と生徒も保護者も感じられる学校づくりのため、深い生徒理解に基づく生徒指導を推進し、いじめ撲滅と予防に向け、アンケート等を通じた情報収集と早期の対応を図り、保護者と連携しながら綿密な情報共有を行っていきます。また、教職員一同が「西東京あったか先生」の取り組みを推進し、人権について考える機会を設けたり、いじめ防止研修を通していじめに対する深い理解をもつよう努めたりしながら「安心・安全な学校」を目指し行動してまいります。

- ③ 生徒は総合的な学習の時間などを地域の人たちとの関わりのなかで、意欲的に学習することができる。

保護者 66.2% / 生徒 89.2%

生徒の肯定的な回答は約9割となりましたが、保護者の回答は「そう思う」「おおむねそう思う」と回答する割合が約6割半、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答する割合が約2割、「分からない」と回答する割合が約1割と、回答内容に差がある項目となりました。本校では総合的な学習の時間の全体テーマを「西東京と私たちの未来」と設定し、各学年のテーマを、1学年では「西東京を知る」、2学年では「西東京市でつながる」、3学年では「西東京を創る」として学習をすすめてきました。今回の設問にある、「地域の人たちとの関わり」という部分において、西東京市の自然や文化に関する学習や職場体験や様々な交流会などで、より密接に地域との関わりが感じられるような取り組みを行います。また、その取り組みを保護者にも積極的に発信し、総合的な学習の時間を通した生徒の育成に努めていきます。

- ④ 生徒はボランティア精神をもって日々の当番活動に取り組んだり、地域のボランティア活動に参加したりしている。

保護者 53.4% / 生徒 87.9%

保護者の「そう思う」「おおむねそう思う」と回答する割合が、最も少なかった項目です。昨年度実施のアンケートと比べ、生徒の肯定的な回答に関しては大きく増えているものの、保護者の回答内容状況をみると、認識の差が生まれていることは事実です。今後も継続して校内でのボランティア的な活動の取り組みを充実させ、「ボランティア精神」について具体的な認識をもたせ、社会と関わる姿勢や社会に貢献する意欲や態度を育成していきます。また、ボランティアに参加した生徒の体験や、得た知見などを生徒自身の言葉で発表・報告する取り組みを増やしていき、多くの生徒がボランティア活動に対して前向きな意識をもつよう促していきます。